

モットーは「大人の学校」 本業にとらわれない取り組みを実践

「第2回会計事務所甲子園」決勝進出!

「大人の学校」を合言葉とする税理士法人大石会計事務所(東京都国立市)。業種が多岐にわたる中小企業の経営支援に携われることから、「いい会社」とは何かを追求。事務所を挙げて多彩な取り組みを展開し、中小企業の模範になれるよう全力を傾けている。代表社員税理士の大石豊司氏に話を聞いた。

—それが「大人の学校」なのですね。

大石氏 はい。われわれ会計事務所はいろいろな業種の中小企業の経営支援にかかわります。それゆえ「いい会社」とは何か、どんな中小企業を目指すべきかをわれわれ自身が追求し、それを発信する使命があるのです。

—具体的にどんな取り組みを行っているのですか？

大石氏 主な取り組みとしては、毎朝9時から30分前後実施する「朝礼」は、一般参加も受け付けています。いろいろある朝礼メニューの中でも一番人気は「ほめほめタイム」。クジに当たった人を全員で褒めるコーナーです。朝から褒められたら悪い気はしませんよね。仕事への意欲も向上します。それから毎週水曜日は朝8時から社員の自主活動で地域清掃を行っています。また、隔月で異業種交流会を開催し、参加者同士のビジネスマッチングを手助けしています。

—会計事務所の枠にとらわれない多彩な取り組みですね。大石先生のアイデアですか？

大石氏 いいえ。ほとんどは社員

からの提案なんです。私は決まった後からついていく感じですね。

—なぜ、社員さんから自発的な提案がたくさん出るのですか？

大石氏 提案者に負担がかからない仕組みにしているからでしょうか。社員の力量や業務状況などを勘案し、場合によっては提案者=実行者とならないようにしています。自発的に提案してもらうことが大切ですからね。

若手勢の「やりましょう!」で
エントリーを決断。
社員の底力で決勝へ!

—12月の「第2回会計事務所甲子園」では、決勝に進出しましたね。

大石氏 実はこのエントリーも若手社員が中心となって進めたんですよ。私が「どうする?」とみんなに聞いてみて、ベテラン社員は多少難色を示していたのですが、多くの若手社員が「ぜひやりましょう!」と乗り気だったので、出場することにしました。

—では、出場となったら大石先生が音頭を取ったのですか？

大石氏 いいえ、私は2次の面談審査に出ただけで、1次の書類審査や3次のプレゼン審査は社

員全員が日夜頑張ってくれました。特に私は面談で考えを上手に伝えられなかったのが、ここまで残れたのは、本当に社員の底力のおかげだと感謝しています。

—決勝まで残った要因はどこにあるとお考えですか？

大石氏 当社の取り組みが会計事務所っぽくないところではないでしょうか。本業にとらわれずに、中小企業に役立つことをいろいろと実践してきたことだと、自分では分析しています。

—決勝への抱負をお願いします。

大石氏 われわれが実践している中小企業への貢献は直接的ではなく、どこまで評価してもらえるのか分かりませんが、胸を借りるつもりで挑戦させていただきます。

—現在のような取り組みを行うようになったのはいつからですか？

大石氏 今のような体制が固まってきたのは、まだ6、7年程度です。開業から25年になりますが、15年間は一般的な会計事務所でした。頑張って事業拡大している若手税理士さんを見て「このままでは不完全燃焼だ!」と思い、変革を進めました。

—変革期で苦労したことは？

大石氏 今もそうですが、採用ですね。価値観が合う人に来てもらえるよう、面接等は念入りに実施しています。

—新規拡大の話になります。2014年に入ってから、どのくらいの新規顧問先がいらっしゃるんですか？

大石氏 1~9月ペースで純増40件です。紹介とそれ以外が半々ですね。現在、30代の若手社員が多いので、社員満足を上げるためにも新規拡大は課題のひとつです。

—最後に5年後の目標は？

大石氏 現在、約30人いる社員にとって本当に働き甲斐を感じてもらえる事務所になりたいです。

事務所紹介

1989年開業。国立市内を基盤に地域密着型のサービスを展開。月2回の「論語教室」開催や「教育勸語」の暗誦など、人間力向上に力を入れている。

大石氏をはじめ社員の大半が参加する「富士山マラソン」や、月1回の「ハッピーランチ」など、社員が自発的に始めたイベントも数多い。

インタビュー音声WEBにて公開!


<http://www.z-biznavi.com/>

「いい会社」とは何か?
を模範になって示して
経営のヒントを発信する

—大石会計さんは多彩な取り組みを実践していますね。

大石豊司氏(以下大石氏) そうですね。まず、当社では3つの経営理念を掲げています。

- (1)人を大切にする感動経営企業を広める
- (2)利益を生む中小企業づくりのお手伝い
- (3)事業活動を通じた地域社会の活性化

もちろん(2)のように、会計事務所だからこそできる支援がありますが、税務・会計だけにとらわれない取り組みを展開しています。



税理士法人大石会計事務所
(東京都国立市)

代表社員 税理士
大石豊司氏